

航空・空港の利用促進活動月次報告（令和7年7月）

1. 各空港の取組報告

【県営名古屋空港】 1

- ① 件 名：あいち航空ミュージアム
夏休みイベントオープニングセレモニーの開催
- ② 地域振興等類型：(2)航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：あいち航空ミュージアム
- ④ 実施時期：2025年7月19日（土）
- ⑤ 取組内容：夏休みイベント（7月19日～8月31日）のオープニングイベントで、SKE48とのLOVEあいち・スペシャルコラボ企画として、SKE48の青木 莉樺さん、浅井 裕華さんをゲストにお招きした「オープニングセレモニー」を実施しました。夏休みイベントの見どころ紹介やフライトシミュレーター、マーシャリングシミュレーターの体験を行い、イベント初日を飾る、大変盛況なイベントとなりました。
- また、夏休みイベントでは、第5回航空機プラモデルコンテストの審査作品の展示（8月19日まで）や、ブルーインパルスと最新旅客機のフライトシミュレーター、航空機の誘導を体験できるマーシャリングシミュレーターを期間限定で設置（8月31日までの土日祝）しました。



【県営名古屋空港】 2

- ① 件 名：県営名古屋空港ミニコンサート「たなばた演奏会」及びデッキ見学
- ② 地域振興等類型：（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：県営名古屋空港
- ④ 実施時期：2025年7月7日（月）
- ⑤ 取組内容：「学校法人豊山学園 天使幼稚園」園児 48 名による、演奏会を到着ロビーで開催し、200 名ほどの利用者が楽しめました。また、演奏会終了後には園児達に空港を身近に感じてもらえるよう展望デッキ見学を実施し、空港ノベルティもプレゼントしました。ロビーでの演奏会開催による空港の賑わい創出や、地元豊山町の幼稚園との交流促進を図ることができました。



【県営名古屋空港】 3

- ① 件 名：県営名古屋空港ミニギャラリー
「なごや航空文化フェスタ 2025 めりえ展」
- ② 地域振興等類型：（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：県営名古屋空港
- ④ 実施時期：2025年7月11日（金）～2025年8月14日（木）
- ⑤ 取組内容：2025年2月に開催された「なごや航空文化フェスタ 2025」にて、来場されたお客様に描いていただいた、めりえ作品 90 点を展示しました。空港の空きスペースを有効活用してギャラリーを展開することで、おもてなしと空港の賑わいを創出することができました。



【広島空港】①

- ① 件 名： POP UP STORE 備中備後 手しごとの旅 ～つなぐ手、つながる地～
- ② 地域振興等類型：（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実 施 主 体：広島国際空港株式会社
- ④ 実 施 時 期：７月１０日（木）～７月２３日（水）
- ⑤ 取 組 内 容：広島空港にて、岡山・広島の県境に広がる、備中備後の地で生まれる品々を販売。



【広島空港】②

- ① 件 名：「熊永堂」期間限定イベントショップ
- ② 地域振興等類型：（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実 施 主 体：広島国際空港株式会社
- ④ 実 施 時 期：７月１７日（木）～７月２３日（水）
- ⑤ 取 組 内 容：広島県熊野町で生み出される「熊永堂」の良質な熊野筆を広島空港にて期間限定で販売。



【岩国空港】

- ① 件 名：七夕イベント
- ② 地域振興等類型：（４）空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：ANA 岩国空港所
- ④ 実施時期：６月２５日～７月７日
- ⑤ 取組内容：空港ロビー中央に短冊と笹を設置し願い事を飾っていただく。メッセージ付き飴の配布。短冊はイベント終了後、防府天満宮へ奉納。



【米子空港】①

- ① 件 名：インターシップ（鳥取県立境港総合技術高等学校）の受入れ
- ② 地域振興等類型：④ 空港と地域との交流促進
- ③ 実施主体：米子空港ビル(株)
- ④ 実施時期：令和7年7月9日～11日
- ⑤ 取組内容：空港の各種業務体験（案内所、ラウンジ、航空会社（ANA・エアソウル）業務など）



【米子空港】②

- ① 件 名：七夕イベント（短冊設置）
- ② 地域振興等類型：②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ③ 実施主体：ANA
- ④ 実施時期：令和7年7月
- ⑤ 取組内容：短冊設置 など



【福岡空港】

- ① 件 名：TEAM FUKボウリング大会
- ②地域振興等類型：〔1〕航空ネットワークの維持
- ③実施主体：主催TEAM FUK（チーム福岡空港）
- ④実施時期：令和7年7月18日（金）、24日（木）
- ⑤取組内容：

実施場所：パピオボウル（ボウリング）、レストラン&and（懇親会）

内 容：TEAMFUK 事業者間の関係構築・一体感醸成を目的とし、TEAM FUK ボウリング大会を実施、計 21 事業者・団体 202 名が参加した。ボウリング大会後の懇親会では、会食しながらボウリングの結果発表や抽選会を行った。

後日実施したアンケート結果や当日の様子・参加者からのご意見を踏まえると、大変好評であった。



【熊本空港】 1

- ① 件 名：宇城市制 20 周年記念 特別遊覧飛行フライト巡回展
- ② 地域振興等類型：②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
④空港を地域との交流促進
- ③ 実施主体：宇城市、日本航空、熊本国際空港㈱
- ④ 実施時期：2025 年 7 月 7 日から 8 月末日まで
- ⑤ 取組内容：本年 1 月 26 日に宇城市の市政 20 周年を記念して、宇城市と日本航空の共同企画で阿蘇くまもと空港発着の遊覧フライトが実施されました。参加者は、書類選考を通過した宇城市の小・中学生とその保護者の皆さま。
- 機内では富士山を望んだり、機内アナウンスを体験したりと、思い思いに楽しんだ様子でした。阿蘇くまもと空港旅客ターミナルビル 4 階では、遊覧フライトに参加された小・中学生 50 名の感想文と当日の写真の展示を実施しています。



【熊本空港】 2

①件 名：中国東北航空 熊本－上海線就航

②地域振興等類型：①航空ネットワークの維持

②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大

③航空利用者便益の増進

③実施主体：熊本国際空港

④実施時期：2025年7月11日

⑤取組内容：中国東方航空熊本－上海線の就航を祝い、関係者で記念式典を行いました。同路線は阿蘇くまもと空港にとって初の中国大陸直行定期便です。同日は到着初便を消防車両によるウォーターサルートでお出迎えし、記念式典を開催。関係者で鏡開きを行い、就航を祝いました。



【熊本空港】 3

- ① 件 名：崇城大学 宇宙航空システム工学科 3 年生 空港職業見学
- ② 地域振興等類型：②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ④空港と地域との交流促進
- ③ 実 施 主 体：熊本国際空港㈱、崇城大学空港キャンパス
- ④ 実 施 時 期：2025 年 7 月 15 日（火）
- ⑤ 取 組 内 容：崇城大学工学部宇宙航空システム専攻 3 年生 32 名に対し、空港運営会社の業務内容の説明見学会を実施しました。今回は空港運営に関わるエアサイド側の業務を現場の職員の説明を受けながら見学し、空港の安心安全な運営についての理解を深めて頂く機会となりました。



【熊本空港】 4

- ①件 名：第1回 阿蘇くまもと空港ランウェイサイクリングが開催されました
- ②地域振興等類型：②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ④空港と地域との交流促進
- ③実 施 主 体：しゃりんかん熊本空港店、熊本国際空港㈱
- ④実 施 時 期：2025年7月19日（土）
- ⑤取 組 内 容：普段は決して足を踏み入れることのできない広大な滑走路の上を、風を切って自転車で走り抜ける「阿蘇くまもと空港ランウェイサイクリング」が開催されました。好天にも恵まれ、朝日に向かって走る参加者の皆様からは「こんな経験は二度とない！」「飛行機が近い！」といった興奮の声であふれ、自転車で滑走路を駆け抜ける爽快感は格別でした。夏休み初日で、親子参加もあり、それぞれのペースで思い思いにサイクリングを楽しんだ様子でした。



【熊本空港】5

①件 名：ANA 熊本－沖縄（那覇）線就航 50 周年でプレゼント贈呈

②地域振興等類型：①航空ネットワークの維持

②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大

③航空利用者便益の増進

③実 施 主 体：全日本空輸株式会社熊本支店

④実 施 時 期：2025 年 7 月 24 日（木）

⑤取 組 内 容：ANA 熊本－沖縄（那覇）線の就航 50 周年を記念し 7 月 24 日、ご搭乗のお客さまへ記念品のプレゼントなどがありました。

同路線は 1975 年 7 月 23 日、ボーイング 737-200 型機により週 2 往復で運航を開始。現在はボーイング 737-800 型機で 1 日 1 往復しています。

同日は特別アナウンスで搭乗手続きが始まり、スタッフがオリジナルのフライトタグと熊本のお菓子などをプレゼント。くまモンも駆けつけ、横断幕で出発機を見送りました。



【熊本空港】6

①件 名：ランウェイクリーン活動が行われました。

②地域振興等類型：①航空ネットワークの維持

③航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大

④空港と地域との交流促進

③実 施 主 体：熊本国際空港

④実 施 時 期：2025 年 7 月 29 日（火）

⑤取 組 内 容：阿蘇くまもと空港の滑走路で7月29日早朝、ランウェイクリーン活動が行われました。「熊本空港 SMS（Safety Management System）安全強化期間」に合わせた企画で、同空港を運営する熊本国際空港や陸上自衛隊高遊原分屯地、グランドハンドリング事業者などから約140人が参加。参加者は全長3,000メートルの滑走路を歩き、ごみなどが落ちていないかを確認していききました。こうした活動で空港事業者間の連携を深め、「安全・安心」な阿蘇くまもと空港の実現を図っています。



【熊本空港】 7

- ①件 名：熊本ヴォルターズキッチン「阿蘇くまもと空港バックヤードツアー」
- ②地域振興等類型：②航空・空港を活用した観光振興、航空需要の拡大
- ④空港と地域との交流促進
- ③実 施 主 体：熊本バスケットボール㈱、熊本国際空港㈱
- ④実 施 時 期：2025 年 7 月 30 日（水）
- ⑤取 組 内 容：熊本のプロバスケットボールチーム 熊本ヴォルターズが運営する子ども食堂「ヴォルターズキッチン」を利用している小学生とその保護者 26 名を招待して、空港を見学するバックヤードツアーを開催しました。通常は入れないエプロンから、間近に見る大きな飛行機に大きな歓声が上がっていました。

